

項目	①自校方式			②給食センター方式		
	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
衛生管理	ドライ方式・施設設備が新しい。衛生管理が充分。	施設更新が順次に。学校間で差。		エアシャワーなどの機械等の設備があり、ドライ方式施設で衛生管理が充分なされている。	食中毒。被害の範囲が大きくなる。	
	食中毒発生時に自校のみになるので広がりが少ない。(食中毒特定 対応できる。)			衛生面について一元管理可能。	感染源が確定しにくい。	
	真空冷却機があり衛生的においしい給食を提供できる。			施設改善が対応しやすい？		
適温提供・喫食までの時間	出来たての温かい給食が食べられる。			配送面、保温技術も高く、問題ない。	調理終了後から喫食まで2時間以内に行えるのか(揚げ物)。	温かいものが食べられるのか？
	校時に合わせた調理ができる。			保温(冷)食缶の使用で、むしろいい状態では？	立地・交通事情等の影響で時間が読めない。	受け入れ体制(中学校内)について。十分に教育が必要。どの学年がどのルートでとりにいくかなど。
	交通事情等に影響されない。					
	喫食時間を確保しやすい。					
アレルギー対応	食物アレルギーへの細かい対応が可能。			アレルギー対応がしっかりできそう(部屋、人員の確保など)。	細かいアレルギー対応が難しい。	
	臨機応変に対応できる。			米粉による対応などきめ細かく効率的に管理できる。	アレルギー対応食に限られる。乳製品、卵のみ等。	
	保護者と学校が直接連絡ができる。				保護者⇄学校⇄センター 連絡に時間がかかる。	
食育	各校の実態に応じた独自の取組を行いやすい。			市として同じ内容を統一して行うことができる。	数が多く、個々への対応は困難。	どこに立地させるかについて難しい検討が必要。・土地面 ・交通面
	調理や処理など実際の様子を生で見られ、交流しやすい。			職場体験ができる。	栄養士が所属しない学校がある。	栄養教諭はどのように動くのか？
	栄養教諭等の配置ができ、きめ細かい対応ができる。			市内全域に効果的に食育活動を展開できる。		個々の学校の残食量の把握は可能。

項目	①自校方式			②給食センター方式		
	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
残食量の調整	クラスごとに残菜が把握できる。			各学校ごとに把握は可能。		
	日々の残食量の情報からクラス毎の配膳量の調整ができる。			一元的に効率的かつきめ細かく把握できる。		
学校運営上の影響	時間の調整がしやすい	工事により長期にわたり学習活動に影響が及ぶ。		行事等の時間調節は配送順を変えて対応。	保管室の新設、配膳・昼食時間の確保(教育課程編成に絡めて)。	
	各校で対応しやすい。	全校導入までの調整がむずかしい。		全校導入がしやすい。	配食の時間調整をすべての学校とできるか。	
	運動会等、行事の時間に合わせて対応できる。			工事で個々の学校の授業やクラブ活動の中断をしなくて済む。	昼食時間アンケートから中学生の「短」がさらに・・・。	
	各教室前等一定の場所まで運んでおくことで時間の確保がしやすい。			学校の環境を変えなくてよい。	具体的な生徒の指導に不安。	
					工事中、周辺地域への騒音が生じる。	
教育環境への影響等	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
		学校の環境が大きく変わる可能性がある。		施設面での整備が少なく済む。	施設用地の確保	
		調理室等を作るためには現在の何らかの設備をなくすことになり、教育課程等にも影響。			配膳室までの動線の整備が必要。	
初期経費・維持管理・運営経費	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
	給食が提供できなくなった場合、1校の規模でおさまる。	1校のみでなく市内全校に、となったときに費用がかかる。		初期経費は大きいですが、後の運営経費は安くなるのではないかと。一元管理により維持・運営コストが低く抑制可能。	経費(アンケートから)→ニーズにあうものが可能か	小中一貫校は現在小学校しか給食出てませんが、中学校給食はどうしていくのでしょうか？
		一校ずつ細かい管理が必要になってくる。		自校(小倉小)3億 センター(伊丹市)18億4700万 ↓ センター方式の方が予算が少なくて済む？	センターで給食提供できなくなった時、全校に対応しなければならない。	
		中長期的にもコストを抑制できない。		最新の設備を入れられ安くおさえられる。	初期経費が大きい。	
		10校分の整備をするので高くなる。		センター建設については学習活動に影響を及ぼさない。	相当な大きさの施設が必要になる。	

	③親子方式		
残食量の調整	メリット	デメリット	その他
学校運営上の影響	メリット	デメリット	その他
教育環境への影響等	メリット	デメリット	その他
初期経費・維持管理・運営経費	メリット	デメリット	その他

		③親子方式		
衛生管理	メリット	デメリット	その他	
適温提供・喫食までの時間	メリット	デメリット	その他	
アレルギー対応	メリット	デメリット	その他	
食育	メリット	デメリット	その他	